



学 会 通 信

第 111 号

2024 年 7 月 1 日発行

目次

国際学会 ICoME2024 のご案内【最終報】 2

2024 年度第 31 回 日本教育メディア学会年次大会ご案内【第 2 報】 5

論文投稿のご案内 8

学会費納入のお願い，入会者・退会者 9

国際学会 ICoME2024 のご案内【最終報】

研究委員会（国際研究会 ICoME 担当）

ICoME (International Conference for Media in Education) は、日本教育メディア学会 (JAEMS)、韓国教育情報メディア学会 (KAEIM)、中国教育工学会 (CAET)、アメリカ TCC (Teaching, Colleges and Community) との連携によって開催される国際学会です。

ICoME2024 は、本学会がホストとなり日本にて開催されます。前回の 2020 年大会は、新型コロナウイルス感染症によりオンライン開催となったため、実に 8 年ぶりの日本開催となります。開催場所および日程は以下の通りとなっております。発表申し込みはすでに締め切られていますが、キーノートやパネルディスカッション、発表視聴のための参加申し込みは 2024 年 7 月 31 日まで受け付けております。

ICoME は、研究者や教育関係者、大学院生や学部生の貴重な国際的な学術交流の機会となっております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

■日時：2024 年 8 月 21 日（水）－23 日（金）

■場所：明治大学中野キャンパス（東京都中野区）

※オンラインでの発表はありません

■テーマ：Performative Approach to Media Studies in Education

※テーマに限らず、教育メディアに関するその他の発表も広く募集しています。

■ウェブサイト：<https://2024.icode.education/>

※参加申し込みは全て上記ウェブサイトにて受け付けております。

※学会に関する最新の情報は随時ウェブサイトにてお知らせいたします。

■プログラム（暫定）

8 月 21 日（水）

10:00 — Opening Ceremony

10:20

10:30 — Keynote

11:30

11:30 — Lunch Break

13:00

13:00	—	Opening Talk of Roundtable Session &	
13:15		Tutorial for Roundtable presenter	
13:30	—	Roundtable Session 1	
15:00			
15:00	—	Break	Showcase
15:15			
15:15	—	Roundtable Session 2	
16:45			
16:45	—	Break	
17:15			
17:15	—	Meet up & Networking Session	
18:15			

※21 日の Roundtable Session 後に、各国の参加者間でのネットワーキングを目的としたインフォーマルセッションを用意していますので、奮ってご参加ください（参加無料）。

8月22日（木）

09:30	—	Panel Discussion	
11:30			
11:30	—	Break	Showcase
11:45			
11:45	—	Concurrent Session 1	
13:25			
13:25	—	Lunch Break	
14:40			
14:40	—	Concurrent Session 2	
16:20			
16:20	—	Break	
16:35			
16:35	—	Representative Talk	
17:05			
17:05	—	Closing Ceremony	
18:00		- Young Scholar Awards	
		- Information on ICoME2025	

- Closing Remarks

18:00 — General Assembly Meeting *オプション

19:30

※22日のClosing Ceremony 終了後に懇親会を計画しております(別途参加費が必要)。決定次第ウェブサイト上でご案内いたします。

8月23日(金)

10:00 — Workshop 1

11:00

11:00 — Break

11:30

11:30 — Workshop 2

12:30

※23日(午前中のみ)は様々なテーマで参加者間の交流を企図したワークショップが提供されます。参加申し込みは会場にて受け付けます。

■プレゼンテーションの種類と論文の提出期限(プロポーザル提出済みの方のみ論文提出可能)

Concurrent Session

- ・大学教員, 博士課程大学院生, 現職教員などを対象
- ・プロポーザルの提出とその承認を必要とします(締め切り済)
- ・4ページ以内のペーパー提出を必要とします(論文提出期限: 6月30日)
- ・提出されたペーパーはオンライン上で公開
- ・ペーパーとプレゼンテーションはすべて英語

Roundtable Session

- ・主に修士課程大学院生, 学部生を対象
- ・プロポーザルの提出とその承認(確認のみ)を必要とします(締め切り済)
- ・概要あるいは2ページ以内の論文提出を必要とします(概要/論文提出期限: 6月30日)
- ・提出された概要/論文はオンライン上で公開されます
- ・概要/論文とプレゼンテーションはすべて英語です
- ・優秀発表者には「Young Scholar Award」が授与されます(発表者全体の20%程度)
- ・学会1日目(8月21日)終了後に参加者間の交流を目的としたインフォーマルセッションを設けています

■学会までのスケジュール(プロポーザル・論文提出・参加申込期限)【厳守】

- ・プロポーザル提出(Concurrent・Roundtable Session): 締め切り済

- ・論文提出 (Concurrent Session) : 6月30日 (日)
- ・概要／論文提出 (Roundtable Session) : 6月30日 (日)
- ・参加申込 (プレゼンテーション予定者・参加者両方) : 7月31日 (水)

※プレゼンテーション予定者は、必ず参加登録・参加費支払いも済ませてください (期日までに参加登録が行われなかった場合は、発表取り消しとなります)

※プレゼンテーションを伴わない参加者も、必ず期日までに参加登録を済ませてください。**7月31日以降の参加申し込みは一切受け付けられません**ので、必ず Peatix より参加申し込みを完了いただきますようお願いいたします。

- ・参加申し込み&支払いページ URL : <https://2024icome.peatix.com/>

■参加費

参加申し込み&支払いページ URL : <https://2024icome.peatix.com/>

- ・会員 (JAEMS/JSET の正会員) : 15,000 円
- ・一般 (上記の学会の非会員で、学生以外の方) : 18,000 円
- ・学生 (博士課程・修士課程・学部生) : 4,500 円

※参加費の支払いは、Peatix にて行います。

■問い合わせ

ICoME2024 に関するお問い合わせは、以下のメールアドレスをお願いいたします。

contact@icome.education (日本語可)

2024 年度第 31 回 日本教育メディア学会年次大会ご案内【第 2 報】

大会実行委員・年次大会委員会

日本教育メディア学会第 31 回年次大会 開催にあたってのご挨拶

年次大会実行委員長 渡邊光浩（南九州大学）

第 31 回日本教育メディア学会年次大会は、2024 年 10 月 5 日(土)、6 日(日)に鹿児島女子短期大学を会場とし、開催いたします。

日本教育メディア学会は、新型コロナウイルス感染症拡大によるオンライン開催を経て、2022 年度から対面での開催を再開したことで、一堂に会し、自他の研究について議論できる良さを改めて痛感しているところです。

学校の一人一台端末は、教室内外の情報や人と繋がるための「メディア」となりつつあります。また、めまぐるしい速度で開発の進む人工知能を、子どもの学びや教師の業務に活用しようという動きもあります。教育やメディアを取り巻く環境が日々進化・変化する実態を鑑みるにつけ、本学会が担う役割や期待も、さらに大きくなっていると感じています。本年次大会では、より広範な領域、場面における教育メディア研究の成果を共有し、議論を通して、豊かな学びと社会を築ける場を、皆さまとともに創りたいと存じます。

大会委員長であるわたしはこの 4 月に異動しましたが、昨年度の年次大会で案内しました鹿児島女子短期大学で開催いたします。会場は、九州新幹線の終点であり、空港連絡バスのターミナルのある鹿児島中央駅から徒歩でも約 15 分とアクセスがよい場所にあるため、こちらでの開催とさせていただきます。なるべく最後までご参加いただけるようにと、プログラムも工夫しております。懇親を深める場にしていただきたいと思います。懇親会も開催いたします。

大会実行委員会一同、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日程：2024 年 10 月 5 日(土)・6 日(日)

場所：鹿児島女子短期大学

<https://www.jkaiyo.ac.jp/introduction/access/>

1. 時程

<1 日目>

12:00－ 受付

13:00－13:50 総会

14:00－14:50 大会企画 講演（東京学芸大学教職大学院・堀田龍也先生）

15:00－16:30 シンポジウム

16:40－18:10 一般研究発表(1)

18:20－18:50 理事会

19:00－ 懇親会

<2日目>

09:00－10:30 一般研究発表(2)

10:40－12:10 一般研究発表(3), 企画委員会企画「現職教員のための実践研究はじめの一步」

12:10－13:10 昼食

13:10－15:10 課題研究

2. 申込み・締め切り等のスケジュール

6月10日(月) 課題研究プロポーザル受付開始

<https://forms.gle/aSJf3MdGLbwEfnfq9>

7月10日(水) 課題研究プロポーザル締切

7月31日(水) 課題研究結果通知・大会参加申込開始・一般研究発表申し込み開始
発表原稿の提出期限は9月2日(月)です。

3. 大会参加申込 (Peatix を使用)

課題研究・一般研究の発表申込をされた方も大会参加申込が必要です。

また、9月2日(月)までが事前申込(大会参加費・懇親会費)期間とします。

4. 大会参加費・懇親会参加費

事前申込は9月2日(月)まで、それ以降は当日扱い

懇親会に参加希望の方は、あわせて Peatix にて申し込み

会員 3,000 円(事前) 4,000 円(当日)

非会員 4,000 円(事前) 5,000 円(当日)

学生会員 1,000 円(事前) 2,000 円(当日)

学生非会員 2,000 円(事前) 3,000 円(当日)

※ただし、非会員の現職教員は無料

懇親会 6,000 円(学生会員・学生非会員 4,000 円) 9月2日(月)までの事前申込制

(予定) TO THE HERBS(トゥーザハーブズ) 鹿児島店

鹿児島県鹿児島市高麗町 17-5-2F (学会会場より徒歩6分)

5. 課題研究 (大会2日目 13:10－15:10)

(1)「情報活用能力」を育成するための授業設計とカリキュラム

前田康裕(熊本大学), 小林祐紀(放送大学), 山口好和(北海道教育大学)

GIGA 端末が全国的に配備され、授業での活用も推進されている。しかし、その一方で、端末の活用が目的化され、従来の教師主導型の授業から脱しきれておらず、学習の基盤となる資質・能力である「情報活用能力」の育成が必ずしも十分ではないという状況も見える。様々な校種の教科の授業の中でどのよ

うに「情報活用能力」を育てればよいのか。そのためにはどのような条件が必要なのか。授業設計だけにとどまらず、カリキュラムや教員研修などの要因も考慮しながら、多様な研究分野の構成員を要する日本教育メディア学会ならでは議論を行っていきたい。

(2)探究を多様化するアートベース・リサーチ

岸磨貴子（明治大学）、川島裕子（関西大学）

高等教育における研究活動はもちろん、初等教育、中等教育でも探究を軸とした教育がはじまったが、具体的にどのように進めていくことができるかその方法論についての議論が十分にされていない。探究活動の多くは、情報活用の流れで、問い（テーマ）をたてて、調べて、まとめて、発表するという流れが多いが、探究と実践（または児童生徒にとってのリアリティ）と乖離したまま行われている現状もある。ABRは、探究を実践と密接に関連させながら、自分軸で人や社会と関わるアプローチでもあり、探究学習へのあらたなアプローチを示すことができる。また、前年度の「教育メディア研究におけるアートベース・リサーチ」でも多くの方にご参加いただいたことから、本学会での関心も高いといえる。

(3)生成 AI の活用とメディア・リテラシー

大久保紀一郎（京都教育大学）、佐藤和紀（信州大学）

生成 AI の急速な進歩により、児童生徒の学習や校務でも生成 AI の活用が導入され始めています。生成 AI を新しいメディアの1つだと考えれば、生成 AI の活用に対するメディア・リテラシーとその教育に関する研究の重要性も増しています。しかし、生成 AI の活用に必要なメディア・リテラシーやこれまでのメディア・リテラシーとの違いについては十分検討されていません。このような状況をふまえ、本セッションでは、生成 AI 時代に必要なメディア・リテラシーやその育成などに関する理論的、実践的な研究を幅広く募集します。

6. シンポジウム（大会1日目 15:00-16:30）

テーマ「地域ぐるみで考える教育DX：ウェルビーイングの実現と教育メディア」

「GIGA スクール構想」により国際的にも水準の高い学習環境が実現した。次の段階にどう推し進めるかの議論が活発化している。

「個別最適な学び」の環境づくり、教育データの連携・集約・可視化の方法、学習者視点の授業にどう活用するのかなど、官民交えての特色ある報告が相次ぐ。一方で「デジタル化」への不安や対応の不足例も多く聞かれる。「創意工夫、他地域との差別化」と「1人の100歩より全員の1歩」、どちらもが重要な論点であり、本学会が取り組むべき問題でもある。

そこで本シンポジウムでは、鹿児島での教育DXにむけた取り組みを「地域のくらし、ウェルビーイング」の視点から見つめつつ、教育メディア研究の課題を展望する機会としたい。

登壇者（予定）

鹿児島国際大学 辻 慎一郎 氏

鹿児島市教育委員会 木田 博 氏ほか2名

コーディネーター 北海道教育大学 山口 好和 氏

論文投稿のご案内（募集）

編集委員会

『教育メディア研究』特集号（Vol.31, No.2）「教育メディアの活用と協働学習」の募集について
2024年8月20日を締め切りとして、2025年2月末に発刊を予定しております。

今日、学校現場では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、様々な授業で協働学習が実施されています。また、協働学習は、小中学校での授業実践に留まらず、大学等の高等教育や、学校や企業での研修においても盛んに行われつつあります。

協働学習とは、ただ単に複数の学習者が共に学ぶということではなく、同じ目標の達成に向け、力を合わせて学ぶことであるとされています。したがって、そこには、従来のグループ学習のように、学習者同士が言葉を交わしながら目標を達成するために取り組む場面もあれば、役割分担をして、それぞれが自由進度で学習を進め、目標を達成するために互いの学習を調整し合う場面も存在するのです。

このように、目標達成に向け、様々な形態で力を合わせながら学習を進めていく上で、教育メディアが、学習者の学びを支えてくれます。現在、学校現場では学習者一人一人に教育メディアの一つであるタブレットPCが配付され、それらを活用しながら学習を主体的に進めていく姿を求めた授業実践が増えています。例えば、教科書や書籍等のアナログの教育メディアから収集した情報を協働で整理・分析したり、収集した情報をオンライン上で共有しながら、協働して考えを創り出したりする実践が行われています。また、社会活動においても様々なメディアを活用し、それらを用いて他者とつながりながら仕事をしたり、日常生活を送ったりする社会が訪れています。

このような背景から、教育メディアを活用して協働学習をすることに大きな意味があるように考えます。そこで、本特集号では、教育メディアの活用した協働学習についての研究を、初等中等教育・高等教育・社会教育といった様々な分野から募集します。

- ・協働学習を促進・支援するための教育メディアの活用についての研究
- ・教育メディアを活用して実施した協働学習の授業及び研修等の設計についての研究
- ・教育メディアを活用した協働学習を実施する際の教育環境についての研究
- ・学習者が主体となって協働学習を進める際の教育メディアの活用についての研究

上記の例示にとらわれない新分野の研究や理論研究、実践研究、調査研究など様々なアプローチから、今後に活かせる成果を期待します。

また、同時に一般論文も広く募集いたします。一般論文は随時受け付けています。多くの会員からの投稿をお待ちしております。

「投稿規程」(<https://jaems.jp/journal/kitei.html>)を熟読の上、「テンプレート・投稿方法」のページから登録と投稿を行ってください(<https://jaems.jp/journal/guideline.html>)。

多く会員からの投稿をお待ちしております。

以上

学会費納入のお願い，入会者・退会者

◆ 学会費納入のお願い ◆

<納入のお願い>

2024年度（2024年4月1日から2025年3月31日）の年会費（正会員7,000円，学生会員4,000円）が未納の方は，会員システムからお手続きください。学会HPの「会員マイページ」よりアクセスいただくことが可能です。事務手続きの漏れを防ぐためにも，会員システムを通じたお支払いにご協力ください。

銀行振り込みをご希望の場合，下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします。

<送金先>

銀行名：ゆうちょ銀行 種目：普通 店番：418 店名：四一八店（ヨニイチハチ店） 口座番号：0865850 名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガクカイ）
--

※ゆうちょ銀行口座からの振り込みの場合は，下記記号番号をご利用ください。

記号：14160

番号：8658501

- ※ 振込手数料は，ご負担ください。ゆうちょ銀行口座からATMを使って納入いただく場合，手数料は無料です。
- ※ ご自身のゆうちょ銀行口座以外から振り込む場合は，**振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」**にして下さい。それが出来ない場合は振込後，事務局にメールでご連絡ください。
- ※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には，学会事務局にご連絡ください。
- ※ 学生会員は，会費納入に併せて**年度ごと**に学生証などの証明書類のスキャンまたは写真データを会員システム経由で事務局宛に提出してください。**卒業・修了などにより学生会員の条件を満たさなくなった場合は事務局にメールでお知らせください。**

◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では，「学会通信」および重要なお知らせを電子メールで会員に配信しております。また，学会論文誌「教育メディア研究」をご登録の住所に郵送しております。メールの不達，年度末の学会誌の返送が複数発生しております。確実にお届けするために，定期的に会員マイページにログインの上，登録情報の確認をよろしくお願いいたします。

また，まだ会員システムからマイページへのログイン登録がお済みでない方も，この機会にマイページ登録（<https://jaems.jp/admission/mypage/>）をお願いいたします。

【入会者・退会者・除籍者】※敬称略

入会者・正会員（1名）・・・佐竹 靖

入会者・学生会員（2名）・・・角南 卓也， 何 広秀

退会者・正会員 (1名)・・・村井 万寿夫
退会者・学生会員 (1名)・・・伊藤 政英
会員種別変更 学生会員→正会員 (1名)・・・後藤 壮史

会費滞納に関する取り扱いを定めております会則第9条では、会費滞納の会員に対する扱いについて以下のように定めております。会費の納入状況についてご不明な点がありましたら、事務局 (office@jaems.jp) までご連絡ください。

第9条

会員の会費の滞納による除籍については、以下のように定める。

- (1) 正会員，学生会員，団体会員ならびに購読会員が，会費を3年間滞納したとき，その年度末をもって除籍され，会員の資格を喪失する。
- (2) 除籍された元会員が再入会するとき，滞納会費の納入を要する。

会員総数 386名・12団体
名誉会員：7名*
正会員：321名
学生会員：65名
団体会員：6団体
購読会員：6団体

(2024年6月20日現在)

*会員総数に含まず。7名の氏名は学会HPにて公開。

◆ 学会通信アーカイブ作成ご協力をお願い ◆

本学会は定期的に学会通信を発行し、学会HPにて公開しています。現在、一部未公開となっている学会通信も揃えられるよう、学会事務局では以前の学会通信を探しております。お手元に第1-16, 18, 27号が紙もしくはデータ等で残っている場合、学会事務局(office@jaems.jp)までお知らせください。ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

日本教育メディア学会 事務局 〒191-8506 東京都日野市程久保 2-1-1 明星大学 教育学部 今野貴之 研究室内 E-mail : office@jaems.jp 学会ホームページ URL : http://jaems.jp/	広報委員会 委員長 岩崎千晶 (関西大学) 副委員長 永田智子 (兵庫教育大学) 委員 井ノ上憲司 (大阪大学) 尾崎拓郎 (大阪教育大学) 高橋暁子 (千葉工業大学) 多田泰紘 (京都橘大学)
--	--